



# ともに歩む

2001 No.3

社会福祉法人

中播福祉会

法人事務局

兵庫県神崎郡香寺町土師 365 番地 1

TEL .0792 - 32 - 6151

FAX .0792 - 32 - 7250

## 年頭のご挨拶



中播福祉会理事長  
香寺町長 橋本良春

新年あけましておめでとうございます。

21世紀の輝かしい新春をおそろいでお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は、中播福祉会の運営に対し、深いご理解と暖かいご支援を賜っておりますこと、心より厚く御礼申し上げます。

中播福祉会は昭和52年に構成6町が、広域福祉行政の一翼を担うべく設置した社会福祉法人であります。

現在、知的障害者施設福祉事業として、香翠寮・いちかわ園・いちかわ園ゆめさき分園の3施設を運営しております。また、障害児者の在宅福祉事業として、香翠寮での短期入所事業（ショートステイ）を展開しているところでございます。

昨年は、介護保険の導入に始まり、戦後50年以上続いてきた社会福祉制度の基本的枠組みが抜本的に改正され、「社会福祉法」として施行されました。この法律では、「福祉サービス利用者主体」の視点をもって「自立支援」「地域福祉の確立」などの新しい理念が示されました。

このような中、中播福祉会が今後目指すべき方向は、施設福祉の充実はもとより、在宅福祉の充実は必要不可欠なものと認識しております。

このため、管内の在宅障害者の相談・援助活動の拠点として、香翠寮が昨年10月より国・県の指定を受け、療育等支援施設事業を展開しているところであります。

今後、この事業を核にして、行政、各種機関・団体との連携のもと、利用者のニーズに基づいた在宅福祉の整備を図っていきたく考えております。

また、香翠寮での短期入所事業を、従来、専用居室がありませんでしたが、昨年末に男子2床、女子2床の専用居室が完成しました。必要なときに、遠慮なさらずに大いに利用していただきますようお願いいたします。

今後、中播福祉会と地域住民の皆様が、益々絆を深められるような法人運営に心掛けていきたいと思っておりますので、地域住民の皆様方の益々のご健勝を衷心より祈念いたしまして、新年のあいさつといたします。



中播福祉会副理事長  
夢前町長 為則政好

新年あけましておめでとうございます。

皆様には新年をご家族お揃いで健やかにご迎えのこととお喜び申し上げます。

平素は中播福祉会の運営に格別のご理解とご協力を賜わり心より深く感謝申し上げます。

いよいよ時代は21世紀の幕開けとなりました。昨年は社会福祉の情勢がめまぐるしく変化した1年ではなかったでしょうか。4月に介護保険制度がスタートし、5月には社会福祉事業法の一部改正が国会で可決され、これまでの「措置制度」から「契約制度」に移行するなど、社会福祉の基礎構造改革によって社会福祉制度の仕組みが根本的に変わることになりました。このことによって障害者も自らの意志によって自由に福祉サービスが選択できるというものであります。

しかし、障害者にとってこのような仕組みが有効に機能するとは限りません。従いまして、障害者が地域社会の中で生活していくためには様々な支援体制が整備されなければならないところであります。当福祉会においては、既に地域福祉対策の一環として昨年10月より在宅障害者が地域で安心して豊かな生活が送れるよう支援していくための地域療育等支援施設事業を実施しているところであります。

従いまして、今後の社会福祉を進めていく上で施設福祉の充実はもとより、地域福祉へのかかわりを深めていく中で、地域に根ざした福祉サービスを展開していくことが不可欠な課題であると認識しております。福祉に対するニーズは益々多様化してくることが予想されますが、その期待に十分応えるべく機能を確立し、利用者をはじめ地域住民の皆様方から信頼され親しみのもてる施設運営を目指し取り組んでまいりたいと考えますので、今後共さらに一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方の今後益々のご健勝とご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

思いやりの心

中播福祉会事務局長  
上月 範昭



新年あけましておめでとございます。

中播磨地域の皆様方におかれましては、輝かしい二十一世紀の新春をお迎えになられたことお慶び申し上げます。

一、富士、二、鷹、三、なすび、とは初夢で見る良い順番と聞いておりますが、私の初夢は中播磨地域の障害者の皆様方全員がすべてのライフステージにおいて健常者とともにあらゆる社会の中で生活し、活動されている初夢でした。一日も早くそうした社会づくりができることを祈るばかりです。

人々はすべての人が、多くの人とすばらしい出会いがあり、その人々によって社会が生まれ、いずれその人々とも別れが訪れるものであると、思います。

可欠なものではないでしょうか。あらゆる社会の中には、高齢者・障害者等いわゆる生活弱者の方々もおられます。そうした生活弱者の方々を理解し思いやる「まごころ」が必要であり、すなわちノーモラライゼーションの理念であり、日本国憲法第十一條の規程にある「基本的人権の享有」であろうと考えております。

人を人とも思わない、虫けら同然に人の命を絶つ今日の世相ではあるが、それゆえに「人を尊敬し、人を思いやる心」が大切であると考えられるのであります。ましてや同じ対等である人を理解できないものが、高齢者や障害者等生活弱者を理解することは程遠いものであると考えます。

まず身近な人々を理解し、思いやる心が基本であり、その「思いやりとまごころ」が福祉の原点であるとも考えております。

この世の中には数十億人の人間が生存しておりますが百パーセント完璧な人間はおそらく無いものと思えます。すべての人間は何らかの欠陥をもっており、その欠陥をお互いに助け合いながら社会が成り立っているものと思っております。

中播福祉会とともこ

管内担当課長  
市川町健康福祉課長



楠田 光好

新年明けましておめでとございます。

管内の皆さまには、記念すべき二〇〇一年の輝かしい新春をお健やかに迎えになられたことを心よりお祝い申し上げます。

さて、二十一世紀の本格的な高齢者・障害者福祉社会の到来に国や県においてはそれぞれ「高齢者保健福祉推進十ヶ年戦略(新ゴールドプラン)」をはじめ「すこやかひょうご障害者福祉プラン(兵庫障害者福祉新長期計画)」等が策定されております。

市川町では、平成六年三月に「いちかわ、いきいき健康福祉プラン」を。また、平成九年三月には「市川町福祉のまちづくり重点地区整備計画」を策定し、現在、健康・医療・福祉の連携強化と、高齢者や障害者

の方々自立生活を支える地域施設や道路の整備等の施策の推進を図っています。

しかしながら、障害者の方々をとりまく状況については、重度重複障害者の増加、障害者及び介助者の高齢化などが顕著になってきておりますし、また、身体障害や知的障害に加えて精神障害についても町行政としての対応が求められるようになりました。

こうした全体的な動向を考慮しつつ、市川町の地域特性、地域や障害者のニーズを踏まえ障害者福祉の一層の向上を図るため「市川町障害者福祉計画」が策定されております。

この計画の実施については、本町においては社会福祉協議会等々の協力を得て、行政が主体となって推進しておりますが、障害のあるなしにかかわらず、高齢者を含めてすべての町民の参加をめざすために必要な施策・事業を課題別に体系化し、総合的に推進することが重要であると考えております。

こうした地域社会づくりは、一部の人の理解だけでは生み出すことができません。そのためには、中播磨管内(飾磨郡夢前町・神崎郡五町)の各行政が一体となつての広域社会全体がノーモラライゼーションの理念を十分に理解して行動していくことが重要と考えます。

そのために、社会福祉法人・中播福祉会「香翠寮、いちかわ園、ゆめさき分園」のさらなる充実が求め

られております。

十月一日より、国、県の指定を受けて、中播福祉会香翠寮では療育等支援施設事業が始まりました。この事業は地域に暮らす障害者の方々へ、相談機能・療育機能を提供していくという障害者の在宅福祉サービスの拠点としての役割が求められております。

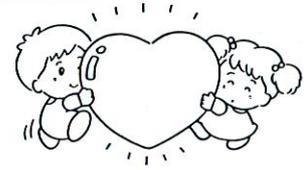
この拠点を核として、特に町単独での対応が難しい事業「施設の短期入所事業(ショートステイ)」を始めとして「ホームヘルプサービス事業」「デイサービス事業」を充実させなければならぬと考えています。

誰しも生まれ育った地域で、自立して暮らし続けたいという希望をもつていますが、高齢になったり、障害があつたりすると、この願いが叶いにくくなります。高齢であつても障害があつても一緒に生きていくよう地域社会全体で支援していくこと、それがノーモラライゼーションの理念です。そして、高齢者であっても障害があつても安全で快適に暮らせる町は、すべての人にとつても安全で快適な町といえるのではないのでしょうか!

このような町づくりを推進していくためにも管内の皆様方より一層のご理解とご支援を、今後ともお願い申し上げますとともに、中播福祉会の各種の事業推進に、私も微力ながら、努力をしてみたいと考えておりますので、どうかよろしくお願ひ致します。

# 療育等支援施設事業のご案内

## 療育等支援施設事業とは

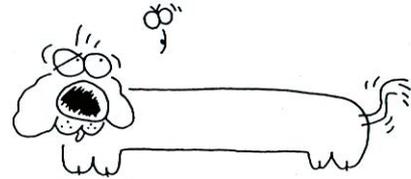


平成7年12月に「ノーマライゼーション」と「リハビリテーション」の理念に基づき「障害者プラン」が策定され、地域福祉に重点を置いた、今後の障害者福祉の方向が示されました。

療育等支援施設事業は、それを具体化するために、平成8年4月より「障害者の地域で安心して、豊かな生活を支えるため、施設における相談機能、療育機能の充実を図り、各種の社会福祉サービスを総合的に提供すること。」を目標とし、全国で整備が進められている事業です。

中播福祉会香翠寮では平成12年10月1日より、国と兵庫県の指定を受けて、療育等支援施設事業を開始しております。

## 事業内容について



### ① 在宅支援訪問療育等指導事業

中播福祉会のスタッフが家庭を訪問し、各種の生活の相談に応じたり療育指導を実施します。相談内容等に応じて、指導員・看護婦・事務員等、専門の職員を派遣します。

### ② 在宅支援外来等指導事業

香翠寮をはじめ中播福祉会の施設に来て頂き、各種の生活相談や療育指導を実施します。施設の見学と併せて利用することもできます。

### ③ 施設支援一般指導事業

地域の障害者作業所・障害児学級・養護学校・保育所・幼稚園等・障害児（者）の所属する機関の職員と共に、本人の生活支援や療育について取り組みをします。

### ④ 地域生活支援事業

在宅福祉を担当する「コーディネーター」を配置し、次の事業を実施します。



#### 1) 関係機関との連携

本人や家族との面接、家庭訪問、電話等による各種の相談に応じて、福祉事務所・子どもセンター・保健所・ハローワーク・役場・社会福祉協議会等の多くの関係機関と連携を取りながら、生活支援の援助・調整を行います。

#### 2) 地域に対する福祉理解への啓発

地域生活を支えるボランティアの育成を行います。また、障害者福祉に関する講習会・研修会等の企画・実施と情報誌の定期的発行を行います。

## 対象者

在宅で生活されている重症心身障害児（者）・知的障害児（者）・身体障害児およびその家族の方々です。

## この事業を利用するには

この事業を利用するためには、あらかじめ「登録」をしていただきますと便利です。

## 費用について

「登録」「相談」「訪問・外来療育指導」等この事業の利用については、全て「無料」です。

## こんな時お気軽にご相談下さい

- 生活リズムを立て直したい。
- 子育てや進路について悩んでいる。
- 家に閉じこもりがちである。
- たまにはのんびり休息や旅行がしたい。
- 親亡き後の生活や財産管理が不安。
- 年金や療育手帳を申請したい。
- 施設の短期入所制度（ショートステイ）を利用したい。



相談の内容は問いません。知りたい、困った、そんな時は施設に来ていただくか、電話でご相談ください。専門のスタッフが対応します。

また、私たちの力の及ばない部分については、専門の機関との連絡調整を図りながら取り組みます。

## 問い合わせは

<香 翠 寮> 香寺町土師 365 - 1  
☎ 0792-32-6151 FAX 0792-32-7250

♡ まずは、コーディネーターへ、お気軽にご連絡下さい。

—下記の法人施設でもご相談に応じます—

<いちかわ園> 市川町西川辺 462 - 1  
☎ 0790-26-2184 FAX 0790-26-2572

<いちかわ園ゆめさき分園>  
夢前町前之庄 2203 - 1  
☎ 07933-7-5037 FAX 07933-7-5039

療育等支援施設事業

コーディネーター

香翠寮 藤原 恵子

皆様、新年あけましておめでとう  
ございます。新世紀を迎え、新たな  
気持ちでお過ごしのことと思います。  
中播福祉会香翠寮では国・県の指  
定を受け、療育等支援施設事業を開  
始してから三ヶ月が過ぎました。

この事業は、障害を持った人が、  
より身近なところで、サービスが受  
けられる体制を整え、地域での生活  
をより豊かにすることを目的にして  
おります。

具体的には「在宅障害児(者)の  
ライフステージに応じた地域での生  
活を支援するため、障害児(者)施  
設の有する機能を活用し、療育、相  
談体制の充実を図る」各種福祉サ  
ービスの援助、調整を行う」というも  
のであります。

現在、52名の方の登録があり、家  
庭訪問や来所での相談を通じて事業  
を展開していく中で、まず感じたこ  
とは、「在宅生活をしていく中で多く  
の諸課題をかかえておられる家庭が  
多い」ということです。

相談を通じて、それぞれの家庭の  
ニーズから、香翠寮の短期入所事業  
に結び付けたり、香翠寮やいちかわ  
園において外来療育でお預かりした  
りといった、現有の機能を利用して  
実施できるものは展開しております  
が、一方で重介護の方の一時的なお

預かりや送迎ニーズの要望には応え  
ることができていないのが現状です。  
今後、関係機関との連携を含めて、  
地域の中での在宅サービスメニュー  
の拡大が大きな課題であると認識し  
ております。

多くの相談者の中には「話を聞いて  
もらっただけでも胸のつかえが降  
りました。」「明日からまた頑張りま  
す。」「言って下さる方もおられ、そ  
の言葉が私の大きな励みになってい  
ます。ありがとうございます。」「相談あつて支援なし」にならない  
ように、コーディネーターの立場か  
ら一所懸命に努力していきたいと  
考えておりますのでよろしくお願  
いします。

それから、「一度、尋ねてみたい。」  
という事がありましたら、どんな  
ことでも結構ですでお気軽に連絡  
をして下さい。お待ちしております。

療育等支援施設事業登録者状況(町別)

平成12年12月7日現在

町名	人数(人)
夢前町	10
神崎町	1
市川町	16
福崎町	9
香寺町	11
大河内町	3
その他	2
合計	52

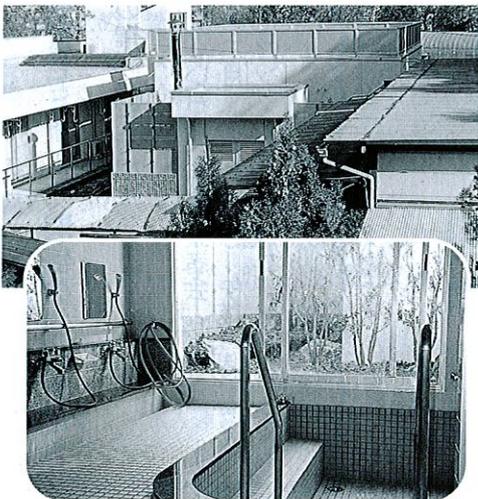
香翠寮浴場新築

香翠寮利用者の処遇改善として、永年の懸  
案事項でありました浴場を新築していただき  
ました。規模は鉄筋コンクリート造平屋建。  
面積は81㎡で、その他ボイラー室6㎡であり  
ます。

設備については、男女浴室、脱衣場、小浴  
室、障害者用便所、洗濯室を配置いたしてお  
ります。

又、寮舎の改修工事は、男女便所の改修と  
ショートステイ専用居室を新設いたしました。

尚、浴場は10月18日より使用してござい  
ますが、初風呂には地元土師老人会の役員さん  
方に入っていました。



中播福祉会「地域交流のつどい」を実施

昨年11月26日(日)に療育等支援施設事業の最初の行事として、  
在宅者を中心に中播福祉会地域交流のつどい「オッハーみんなよっ  
といて」と題しまして、近畿福祉大学のキャンパスをお借りして実  
施することができました。

約120名の方々に参加していただき、近畿福祉大学・播磨中央福  
祉専門学院の学生ボランティアの協力を得て、在宅者やその家族の  
方と一緒に楽しい一日を過ごすことができました。

ボランティアの方々の親切な援助もあり、参加者も生き生きとし  
た表情で過ごすことができました。これからもこの生き生きとした  
表情が保てるよう、いろんな企画を計画していきたいと思ひます。

また、当日お世話いただいた近畿福祉大学並びに学生ボランティ  
アの皆様、有難うございました。

中播福祉会で総合防災訓練を実施

利用者の安全と中播福祉会各施設の防災ネットワークづくりを目  
指して、いちかわ園では水防訓練・香翠寮では震災訓練をそれぞれ  
実施しました。

(いちかわ園)

8月18日、いちかわ園では、台風による雨で市川が警戒水位に達  
し、市川左岸のいちかわ園附近が決壊の恐れありとの想定で訓練が  
始まり、一時避難命令に従って、職員の誘導のもと町役場に一時避  
難。その後避難場所を香翠寮に移し、さらに各施設の職員も駆けつ  
けいちかわ園利用者の受入準備、食事の準備等を行い、スムーズに  
受入が完了し、訓練を終了しました。

(香翠寮)

10月6日午前9時20分、山崎断層を震源とする地震を想定し、  
地震災害訓練を実施。地震発生と同時に理事長の指示のもと地震災  
害対策本部を設置するとともに、香翠寮敷地内の被害調査を開始。  
その後2次災害を防ぐため本部長(事務局長)の指示のもと職員の  
誘導により香寺町中央公民館に避難。又、各施設の職員も物資の調  
達を行い3施設協力のもと無事訓練を終えました。

訓練に際し、香寺町・JA神飾・(株)ヤマザキパン福崎工場の  
各団体にはご協力をいただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

### 知的障害って？

知的障害とは、生活体験や学習をしていく中で、知的なはたらきやその成長発達、同じ年齢の人の平均と比較して、ゆつくりとしていることをさしています。

知的障害を持つ人の中には、お母さんのおなかにいるときや、生まれるとき、または生まれてすぐのときに、病気や事故によって脳細胞がこわされたり、傷ついたりした人がいます。

そのために、すみちをたてて考えたり、ものを覚えたりすることが、すらすらとできにくいのです。でも、それはできないのではなく、ゆつくりとていねいに学ぶことによって、

できるよになることもたくさんあります。

また、知的な遅れは、人間の持つ一つの特性であって、そのことによってその人の全てが評価されるものではありません。知的障害というのと、知能も、ものの感じ方も、両方とも遅れているように感じられることが多いのが現実です。この人たちは感性に障害をもっているわけではないのです。うれしい。悲しい。おいしい。人に認めてもらいたい。ひとりぼっちじゃなくみんなと仲良くなりたい。……といった思いはみんな同じであります。

知的な障害をもつ人たちは、障害

### のびきく賞受賞



碁盤 義郎氏

平成4年4月より、社会福祉法人中播福祉会知的障害者更生入所施設・香翠寮利用者に対して、文化活動の一端として書道の指導を通じて学ぶ喜びと利用者の心のケアへの援助に協力を願っている。

前職（教員）の経験を生かしての



中岡 正司氏

施設器具等の修理及び施設内行事等の看板制作を進んでいただいている。

昭和62年より、自らゲートボール道具一式を揃え、知的障害者授産施設「いちかわ園」利用者へ提供する

のない人にくらべて、ものの理解がゆつくりで遠まわりですが、その人のあるがままを認めていく中で、ゆつくりと、きちんと援助することによって、同じ社会にくらす人として確実に成長発達していくのです。



### 中播福祉会ふれあい短歌集

中岡 正司

- 花の向うに大橋見えて  
絵のごとし演出の妙ここに極まる
- 花博に雲南の花珍し  
時の経つのをしばし忘るる
- 立体の花壇ひとさわめだちたり  
つる性の植物四方にひろがり

とともに、同利用者が初めて体験するゲートボールを、一人ひとり懇切丁寧に指導し、現在では利用者にとつて日々送る生活の「生きがい」の一つになっている。自ら率先して、兵庫ゲートボール連合と調整をとり、平成4年〜8年まで年1回、地元の知的障害者および身体障害者施設に呼びかけ、兵庫県ゲートボール連合主催で「施設親善ゲートボール大会」を開催。日頃の練習の成果を発揮できる場を設けた。

平成9年からは、中岡氏のはたらきかけにより施設親善ゲートボール大会が発展し、兵庫県ゲートボール大会において「施設の部」を設け、



多田 あい氏

県下各地より障害者の施設及び兵庫県民が集い、楽しくプレーし、交流を深める足がかりを築いた。

平成6年より、知的障害者施設「いちかわ園」の日々の活動として、作業手伝いや利用者話し相手として交流され、知的障害者の福祉の向上に多大な貢献をされた。

### 平成十二年度 中播福祉会「福祉セミナー」開催のお知らせ

テーマ 「障害者の権利擁護をめざして」  
講師 調整中  
主催 中播福祉会・いちかわ園保護者会  
日時 平成十三年二月二十三日(金) 午後一時〜三時  
場所 市川町文化センター コミュニティーホール  
参加費 無料

### 編集後記

新年あけましておめでとうございます。二十一世紀という新しい時代を迎え、中播福祉会としても気持ちの引き締まる思いです。

新しく社会福祉法が成立、展開していく中で当法人としても療育等支援施設事業を実施し、施設福祉はもちろんのこと、地域福祉にも重点を置き在宅障害者の方々にもより一層利用しやすい、地域と密着した施設づくりを目指していきたくと考えておりますので、今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。最後にになりましたが、広報「とも歩む」(第三号)発刊にあたりご寄稿いただきました皆さまの方々に厚くお礼申し上げます。